

保護者様

京都市立楊梅幼稚園
園長 外薦 知子

令和5年度 第1回学校評価

平素は、本園の教育活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。7月にはアンケートのご協力、ありがとうございました。10月23日に学校運営協議会があり、幼稚園の第1回のアンケート結果の報告と学校評価について話をしました。皆様にもご報告させていただきます。

【教育目標】	「かかわりを楽しみ、よりよい生活を創り出す子ども」の育成
【目指す子ども像】	探究 夢中になって遊ぶ子ども ふれあい かかわりを楽しむ子ども 誇り 自分のことは自分でしようとする子ども

【保護者アンケートからの考察】(別紙1)

今回のアンケートは回答率が100%でした。保護者の皆さんのが主体的に幼稚園教育にかかわろうとしてくださっていることがうかがえます。アプリを使っての連絡等もスムーズに運用が進み、保護者の皆さんにも便利に利用していただいていることもうかがえます。

設問1、2、3については、全ての方に「あてはまる」「概ねあてはまる」とご回答いただき、子どもたちが幼稚園での遊びを楽しんでいることや、人、もの、こと、とのかかわりを楽しんでいることを、子どもたちの日々の姿から感じていただいていることがわかります。今後も教育目標や目指す子ども像をしっかりと、見据えて保育を進めていきたいと思います。

設問4「自分の子どもは自分のことは自分でしようとする」については、「概ねあてはまる」「あまりあてはまらない」という回答が他の項目と比べ、増えています。子どもたちが自信をもって自分のことを自分でしようとし、保護者の方もその姿に成長を感じていただけるよう、身辺自立に向けての支援を丁寧にしていきたいと思います。

設問5「安心して自分の子どもを預かり保育に参加させている」では、預かり保育を利用していただいている方においては、皆さん安心していただいているようです。後期において、預かり保育を利用される方が増えることも予想されます。預かり保育を必要とされる方皆さんのが、必要な時に安心してご利用できるよう、預かり保育の充実に努めたいと考えています。

設問6「教職員は話しやすく、相談しやすい」は、保護者の方と幼稚園が同じ方向を向いて、子どもたちの育ちを見守っていくために、大切なことだと考えています。今後も、保護者の方も、子どもたちも話しゃしく、相談しやすい教職員であり続けられるよう、園全体で頑張っていきたいと考えています。

【保護者からの自由記述】

○子どもたちの様子について

子どもたちが楽しんで幼稚園で遊んでいることを、保護者の方も嬉しく安心して見守ってくださっているようです。幼稚園から配信している手紙や動画から、また誕生会の参観や親子遠足から、保護者の方が子どもの姿、幼稚園の教育方針をしっかりとられて下さっていることが自由記述から感じられます。その他のご意見としていただいたご要望については、検討、見直し、改善を進め、子どもたちにとっての最善の方法を見つけていきたいと考えています。

(3歳児)

- ・毎日全力で遊んでいて、お休みの日も幼稚園に行きたいということもある。のびのび過ごせている様子である。
- ・幼稚園での体験と同じ年代の友達と過ごすということで本人のやる気が芽生え、飛躍的な成長を感じる。
- ・子どもたちが楽しく、かつ自主性を大切に過ごせるようにしてもらっている。入園当時はほぼできていなかった自分の身の周りのことも、3か月でいろいろとできるようになっているのを日々感じる。

(4歳児)

- ・大好きな友達ができてはじける笑顔、楽しそうだ。「ちょっと手伝って」「一緒にやろう！」など友達との積極的なやり取りも参観した。
- ・ものや、素材に触れたり、創造力が膨らんでいろんなものを作ったりすることが好きなようで、手先も上手に使えるようになってきた。
- ・幼稚園で売った歌や踊りを帰ってから嬉しそうに見せてくれる。

(5歳児)

- ・本人の興味のあることだけでなく、いろんな遊びを経験していることがいい。
- ・毎朝嬉しそうに登園して、お迎えの時には幼稚園での楽しかったことをたくさんお話してくれる。
- ・学年が上がるに従い、より幼稚園での生活を楽しんでいる様子をうれしく思う。送り迎えの際、先生から子どもの様子を聞き、子どもの園での様子がイメージできて安心している。
- ・こども主体の保育に子どもは楽しんで幼稚園に通っている。子どもが帰ってきて印象が強かったことは話してくれるので、それが楽しみである。

(その他のご意見)

- ・幼稚園の学年カラー帽子を快適に使えるよう工夫をしてほしい。
- ・みんなで同じものを食べる（幼稚園弁当）を検討してほしい。
- ・参観日や行事等の写真、動画撮影について検討してほしい。

【教職員アンケート（自己評価）からの考察】（別紙2）

教職員自己評価は、評価項目の「子どもは」を「幼稚園の子どもは」または「クラスの子どもは」に置き換えて、行いました。設問6は保護者に対して話しやすく、相談しやすい教職員であるために注力できたかどうかについて評価しました。

全教職員が全設問に対して、「あてはまる」「概ねあてはまる」と回答しました。コロナの5類移行に伴い、幼稚園行事や日頃の遊びを再度見直し、子どもたちが多様な経験をし、自己発揮できるよう、もっと楽しい幼稚園になるよう、カリキュラムマネジメントを進め、環境構成をしっかりしていきたいと考えています。子どもが大好きな幼稚園を目指し、保護者の皆さん、運営協議会の皆さん、地域の皆さんと共に力を合わせていきたいと考えています。

【学校運営協議会（楊梅幼稚園・下京雅小学校）でのご意見】

- ・運動会を子どもも、保護者も楽しみにしていた。行事等を参観し、教職員がコミュニケーションを良くとて、連携しながら保育を進めている様子が伺えた。
- ・働き方改革を進めながらも、子どもファーストの幼稚園、小学校であり続けるため、地域も協力していきたい。
- ・運動会の親子競技では、親子が楽しくふれあいを楽しむ姿がほほえましく見られた。また、親と離れて幼児がしっかり自分のプログラムに取り組む姿が良かった。
- ・親の子に対する願いは強く、もっとこうなってほしいという思いから、厳しい評価が出ることもあるかもしれないが、幼稚園での具体的な子どもの姿を伝えることで、保護者も安心するのではないだろうか。